

## 研修報告書 No.2

所 属： 昭和大学病院

氏 名： 田中 里奈

研修先： 土佐市民病院

地域医療研修として高知県土佐市の土佐市民病院にて2022年4月に4週間研修させていただきましたのでここにご報告させていただきます。私自身高知大学出身であり学生時代の6年間を高知県で過ごしましたが、卒業後は都内の大学病院にて医師臨床研修を行っております。学生時代も地域医療実習等で高知の医療に触れる機会に恵まれていましたが、今回の地域医療研修では医師となり異なる立場から医療現場を見ることができ、非常に有意義なかけがえのない経験となりました。

4週間のうち最も印象に残ったことは一般内科外来研修です。外来を見学することは今までも数多くありましたが、外来において自分が主体となって医療面接・診察・検査のオーダーを行うような機会が今までにはなかったので非常に勉強になりました。自分の所属している都内の病院では、当直帯の救急車やウォークインの患者さんのファーストタッチを受け持つのでその要領で外来も当初行おうとしていましたが、なかなか要領を得ず患者さんをお待たせしてしまい、外来でたくさん患者さんを診察する難しさを感じました。患者さんの主訴やお話を聞きながらその場で必要な診察を行い、検査を考え説明しオーダーする流れの中でわからないこともたくさんありましたが、その都度上級医の先生方や看護師の方々、医療秘書の方に教えていただき大変心強かったです。研修医に対して、病院全体で支え教育していこうという姿勢を日々感じることができ、地域研修ならではの素晴らしさだと感じました。また、患者さんが非常に医療者を信頼し診察を受けに来られていることも印象に残りました。かかりつけのクリニックで相談しにくい悩み事を相談してくださったり、長らく悩んでいる症状の原因を調べるために来院されたりなど目的は様々ですが、土佐市の医療を支えている病院としての役割を考えながらどこまで検査を行うのか、病院のできる範囲でなるべく患者さんの希望に寄り添っていくことの大切さを学びました。

今回の研修では病棟の入院患者さんの受け持ちもさせていただきました。主治医に名前を入れていただき、敗血症や虚血性腸炎、がんの末期の患者さんなど内科の common disease を上級医の先生方のもと丁寧にじっくり学ぶことができました。疾患に触れる・治すだけではなく、多職種の方々と相談しながら退院支援を行ったり患者さんのご家族にICを実施したりなどもさせていただき、貴重な経験となりました。高齢者の大変多い地域の中で患者さんがどのような生活をしているのか、どのような医療を望まれているかなど病院の外での患者さんの生活を想像しながら医療を行うことが地域医療では大切であると感じました。

高知県の土佐市は都心と比較しても高齢者の割合が多く、また土佐市民病院は近隣に大

きな病院がたくさんある都内の病院と違い、市内の中核病院として市民から期待される役割も非常に大きく普段研修している地域とは違う医療の側面を見ることができました。地域の生活と密接に関わっている点や患者さんとの距離の近さはとても新鮮であると同時に、住民の方々のために何か役に立ちたいと感じる自分もいて、医師を志した原点を思い出させてくれるものでもありました。1ヶ月ではありましたが、このような経験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。土佐市民病院は雰囲気もとても良く、どのスタッフの方も他県から来た私にいつも気持ちよく挨拶をしてくださったり親切に声をかけてくださいました。困った時はいつでも助けてくださった先生方、医療スタッフの皆様、医療秘書の方々からは医療者としての働く姿勢などたくさんのことを学ばせていただきました。

久しぶりに帰ってきた高知県でしたが、自然の豊かさや食べ物の美味しさ、綺麗な景色など懐かしさを感じながら1ヶ月の高知生活を満喫することができました。学生時代、土佐市にはあまり訪れたことがなかったのですが、土佐市で生活したことで新たな高知県の魅力をたくさん知ることができました。また、かつての高知大学の同級生が高知県で医師として活躍している様子を耳にする機会もあり非常に嬉しく感じました。

この地域医療研修に関わってくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。4週間という短い間でしたが、私にとって生涯忘れない研修となりました。本当にありがとうございました。